

川上ダムオオサンショウウオ保全対策検討会 議事要旨

開催日時 令和4年10月27日

開催場所 独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所 小会議室（web会議）

出席委員 6名

【議事】

- (1) 前回検討会のご意見等への対応
- (2) 保全対策のスケジュール
- (3) 生息環境の改善
- (4) 保護移転調査結果
- (5) 湛水域等の調査結果
- (6) モニタリング調査結果
- (7) 今後のモニタリング調査等

【審議結果】

委員から、次の通り指導、助言があった。

- (1) 前回検討会のご意見等への対応
 - 特になし。
- (2) 保全対策のスケジュール
 - 調査結果等のとりまとめのスケジュールを示すこと。
- (3) 生息環境の改善
 - 適切に実施されている。
- (4) 保護移転調査結果
 - 連続6年の調査により、成体はもとより移転開始時に小さくて保護できなかった幼生等についても見つけられるサイズまで成長し、保護できたものと思われる。
 - 最終的に幼生等の確認がほぼ無くなったことは、繁殖巣穴調査含め、成体等の保護移転の効果があったものと思われる。
- (5) 湛水域等の調査結果
 - 湛水域モニタリング調査は適切に行われ、状況把握がなされている。
- (6) モニタリング調査結果
 - 上流の個体群については成体等の分布範囲がやや拡大し、肥満度が減ることもない状況であり、幼生等の確認状況も減少の傾向は見られない。また、生息環境の悪化も見られない。以上より、上流個体群は維持され、分布域も拡大しているものと思われる。
 - 一方で成体等の確認個体数は昨年と比べ、下流が同程度に対し、上流が減少しているため、今後注視が必要である。
 - 幼生等の確認個体数や魚類調査等の経年変動が見られる調査結果については、河川状況や

気象状況、調査努力量等々の影響を踏まえたわかりやすい整理を行うことが望ましい。

(7) 今後のモニタリング調査等

- 今後のモニタリング調査の計画、環境保全施設の維持管理方針については了承する。
- 出水により貯水池に流された個体の遡上状況を把握することが望ましい。

以上